



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1059 2017年1月23日

ARIBからのお知らせ

第148回電波利用懇話会開催のお知らせ
「79GHz帯を利用した高分解能ミリ波レーダ技術の紹介」

近年、ITS（Intelligent Transport Systems：高度道路交通システム）に関する研究開発、標準化が活発に行われ、VICS、ETC/ETC2.0の社会実装、700MHz帯路車間・車車間通信や76GHz帯レーダを利用した安全運転支援システムの車両への搭載が進んでおります。電波産業会でもITS情報通信システム推進会議の事務局として積極的に活動すると共に、ARIB標準の制定も進めております。

さて、皆様ご承知の通り、国際的に自動運転システムに関する研究開発が積極的に進められております。自動運転システムを実現するためには多くの技術が必要となりますが、その一つとして車両の周辺を高精度にセンシングし、車両と歩行者を高分解能で分離検出するミリ波レーダ技術が期待されております。

ミリ波レーダの高分解能化には広い周波数帯域が必要となりますが、2015年11月に開催されたITU世界無線通信会議(WRC-15)において、日本が中心となり、79GHz帯として4GHz帯域幅(77~81GHz)を自動車用レーダ用途へ割り当てることと決定し、利用環境が整ったことから、国際的に研究開発と標準化が進んでおります。

今回の電波利用懇話会では、ITS情報通信システム推進会議ミリ波WGで活動しておられるパナソニック株式会社の中川洋一様をお迎えして、79GHz帯高分解能レーダの技術ポテンシャル、国際動向についてご説明いただくとともに、戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)において取り組まれている実証実験結果についてご紹介いただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時: 平成29年3月3日(金) 午後2時から3時まで
- 2 場 所: 一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
- 3 題 名: 79GHz帯を利用した高分解能ミリ波レーダ技術の紹介
- 4 講 師: パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社 イノベーションセンター
無線ソリューション開発部 中川 洋一様
- 5 対 象: ARIB 正会員及び賛助会員
- 6 参 加 者: 70名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 申 込 先: 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参 加 費: 無料
- 9 問 合 せ 先: 企画国際部 電波利用懇話会事務局 辻道 まで
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2016@arib.or.jp

第 102 回規格会議の決議に基づく標準規格等の電子ファイルの公開について

2016 年 12 月 9 日(金)に開催された第 102 回規格会議の決議に基づき、標準規格(改定 6 件)、技術資料(改定 4 件)について、電子ファイルを ARIB Web サイトの標準規格等一覧(http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/kikaku_tushin/index.html)に公開しましたのでお知らせいたします。

また、ARIB 会員でない方向けに、ARIB Web Store(<https://webstore.arib.or.jp/jp/>)において標準規格等の販売を行っておりますので、併せてお知らせいたします。

1 改定が決議された標準規格(議案順)

標準規格番号	版数	標準規格名
STD-T63	12.20	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD
STD-T94	3.4	OFDMA Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX™ applied in Japan) ARIB STANDARD
STD-T104	4.20	LTE-Advanced System ARIB STANDARD
STD-T116	1.1	市町村デジタル移動通信システム(SCPC/4 値 FSK 方式)標準規格
STD-B32	3.9	デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格
STD-B63	1.6	高度広帯域衛星デジタル放送用受信装置標準規格(望ましい仕様)

2 改定が決議された技術資料(議案順)

技術資料番号	版数	技術資料名
TR-T12	12.20	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB Technical Report
TR-T19	4.20	LTE-Advanced System ARIB Technical Report
TR-B15	7.2	BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定技術資料
TR-B39	1.2	高度広帯域衛星デジタル放送運用規定技術資料

IPR 検索サービスについては、今回の規格会議に関する IPR 情報を近日中に更新する予定です。この検索サービスは以下の URL でご利用いただけます。

<http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/sakutei/IPR/index.php>

標準規格等の英語翻訳版電子ファイルの公開について

新たに1件の英語翻訳版を公開しました。

放送分野

規格番号等		標準規格名等
STD-T110	1.1 版	狭域通信(DSRC)基本アプリケーションインタフェース標準規格

※「英語翻訳版」は、標準規格又は技術資料の正本から英語に翻訳されたものであることを示します。正本と翻訳版との間に内容、表現等に何らかの相違点があった場合は、正本を優先します。

ARIBの動き

日トルコ5Gワークショップへの参加

2015年10月7日、総務省とトルコ共和国・情報通信技術庁（ICTA：Information and Communication Technologies Authority of the Republic of TURKEY）の間で、情報通信技術に関する協力に関する共同声明への署名が行われました。この共同声明は、日・トルコ間の次世代移動通信システム（5G）に関する協力を強化するため、ITU、3GPP等の国際機関での議論における協調や両国の民間セクターの関係強化等を内容としています。本ワークショップは、上記共同声明を踏まえ、総務省とICTAの共催で開催されたものです。

1 開催の概要

- (1) 日 時： 2017年1月10日 10時～18時
- (2) 場 所： ICTA 大会議室（トルコ・アンカラ）
- (3) 参加者： トルコの主管庁、通信事業者、製造メーカ、大学・研究機関から約250名が参加（ICTAの地方局等をTV会議で接続）。日本からは、総務省総合通信基盤局の富永局長を団長に5名が参加。当会から、佐藤孝平参与が第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）事務局長の立場で参加。

2 ワークショップの概要

(1) オープニングセッション

O.F.Sayan 情報通信技術庁総裁が、歓迎の挨拶と本ワークショップ開催の趣旨を述べた後に、トルコの経済・技術の発展状況とともに、日トルコ間の協力の経緯を説明しました。また、昨年4月に、トルコ5Gフォーラム（5GTRフォーラム）を設立したので、5Gの標準化に向けて是非協調したいと言及しました。

続いて、オール大統領首席補佐官の来賓挨拶、富永局長の挨拶及び日本における5Gの検討状況の概要に関するプレゼンテーションを行いました。

(2) 政府関係者のセッション

ICTAのR.Yilmaz氏（Market Surveillance 研究所・所長）から、トルコでの5Gに関する技術と政策動向について、総務省移動通信課の高橋文武課長補佐から、日本における移動通信システムの発展状況、5G実現に向けた取組等についてプレゼンテーションを行いました。

(3) 民間セクターのセッション

ASELSAN Elektronik（トルコの無線機器や電子システムの製造メーカ）から、4G／5Gの研究開発及び標準化活動への参画状況について、佐藤事務局長から、5GMF設立の背景と概要及び白書にフォーカスした最新の活動状況についてプレゼンテーションを行いました。また、トルコの5GTRフォーラムとの協力・協調を前向きに検討するとともに、今年5月に東京で5GMFが主催する第3回Global 5G Eventに5GTRフォーラムの代表を招待したいとのアナウンスをしました。

(4) 研究開発に関する特別セッション

BİLGEM (Informatics and Information Security Research Center of TÜBİTAK (トルコ科学技術研究委員会)) から、TÜBİTAKの概要と活動状況、5Gのビジョンと研究開発状況について、NTTドコモの中村武宏氏（5G推進室長）から、ドコモの5G展開戦略と5Gのための周波数の検討状況並びに5G実現に向けた国内外企業との実証実験の概要についてプレゼンテーションを行いました。



オープニングセッションで挨拶するICTAのSayan 総裁と総務省の富永総合通信基盤局長



ワークショップ終了後の講演者及び日トルコ関係者の集合写真

自営無線通信調査研究会の第8回会合を開催

自営無線通信に関係する行政、学識経験者、メーカ、ユーザが集まり、自営通信を取り巻く内外の技術動向、利用動向などについて調査し、自営無線通信の高度化について検討する自営無線通信調査研究会の第8回会合が、92名参加し、1月17日に開催されました。

第8回会合においては、「最新施策動向」、「自営無線通信の現状」、「公共安全通信への公衆網の活用」の3つのテーマ毎に5名の方にプレゼンテーションいただきました。

1つ目のテーマでは、総務省様から「920MHz帯小電力無線システムの高度化に係る技術的条件の検討開始」について、2つ目のテーマでは、東京消防庁様から「東京消防庁無線通信網の現状」について、3つ目のテーマでは、マルチメディア振興センター様から「公衆網を活用した公共安全通信網に関する諸外国の海外動向」、NTTドコモ様及びKDDI様から「公衆網を活用した公共安全通信サービスの可能性」についてプレゼンテーションいただき、意見交換が行われました。



自営無線通信調査研究会 第8回会合の様子



総務省
伊藤課長補佐



東京消防庁
早坂 俊裕様



マルチメディア振興センター
飯塚 留美様



NTTドコモ
大西 亨明様



KDDI
川西 直毅様

今週の ARIB 内会合（1月23日～1月27日）

- 1月23日（月） 高度無線通信研究委員会 標準化部会
1月24日（火） 素材伝送開発部会 主任会議
1月25日（水） 第248回技術委員会（放送分野）
1月27日（金） 素材伝送開発部会 素材伝送用 HEVC コーデック評価 JTG

今週の国際会合（1月23日～1月27日）

参加を予定している会合はありません。

お知らせ

災害・危機管理 ICT シンポジウム 2017 ー災害時の情報収集・伝達ー 開催についてお知らせ 国立研究開発法人情報通信研究機構

情報通信研究機構（NICT）は、「災害・危機管理 ICT シンポジウム 2017 ー災害時の情報収集・伝達ー」を開催致します。

皆様御誘いあわせの上、ご参加頂きたく何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、同時開催される第21回震災対策技術展横浜（2017年2月2日～3日）にも情報通信研究機構から出展いたします。 <http://www.nict.go.jp/info/event/2017/02/170202-1.html>

===== プログラム概要 =====

講演会名： 災害・危機管理 ICT シンポジウム 2017
ー災害時の情報収集・伝達ー

<http://www.nict.go.jp/info/event/2017/02/170202-2.html>

開催日時： 2017年2月2日（木） 10時30分から16時00分

開催会場： パシフィコ横浜 アネックスホール F205
横浜市西区みなとみらい1-1-1

主催： 国立研究開発法人情報通信研究機構 次世代安心・安全 ICT フォーラム

共催： けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

参加申込： <http://ictfss.nict.go.jp/yokohama2017/index.html> をご覧頂き、
会社・団体名、氏名等をご記入の上、メールにてお申し込み下さい。

<お問い合わせ先>

情報通信研究機構 電磁波研究所 企画室 担当 守山／関口

Tel : 042-327-6696 Fax : 042-327-7597

e-mail : ictfss-2017[@]ml.nict.go.jp ※ [@] を半角@に変えてください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp